

2026年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程：工業専門課程

学科：高度情報システム科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
1	C言語演習Ⅰ	1	30	2	必修	実習	有
2	C言語演習Ⅱ	1	30	2	必修	実習	有
3	C言語文法Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
4	C言語文法Ⅱ	1	30	2	必修	講義	有
5	JavaScript	1	60	4	必修	実習	有
6	データベース演習(SQL)Ⅰ	1	30	2	必修	実習	有
7	C C N A Ⅰ	1	30	2	必修	実習	有
8	アルゴリズム	1	30	2	必修	講義	無
9	セキュリティⅠ	1	30	2	必修	講義	有
10	セキュリティⅡ	1	30	2	必修	講義	有
11	ソフトウェア	1	30	2	必修	講義	有
12・13	ハードウェアⅠⅡ	1	60	4	必修	講義	無
14	ネットワークⅠ	1	30	2	必修	講義	有
15	ネットワークⅡ	1	30	2	必修	講義	有
16	ホームページ	1	30	2	必修	実習	有
17	表計算基礎Ⅰ	1	30	2	必修	実習	無
18	表計算基礎Ⅱ	1	30	2	必修	実習	無
19	文書編集基礎	1	30	2	必修	実習	有
20	ITパスポート対策	1	30	2	必修	講義	無
21	基本情報対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
22	基本情報科目A対策	1	30	2	必修	講義	無
23	基本情報科目B対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
24	基礎学力	1	30	2	必修	講義	無
25	基礎数学Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
26	基礎英語Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
27	文書作成	1	30	2	必修	講義	無
28	ビジネスマナーⅠ	1	30	2	必修	講義	有
29	経営	1	30	2	必修	講義	有
30	体育実習Ⅰ	1	30	2	必修	実習	無
31	課外活動Ⅰ	1	15	1	選択	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	C言語演習 I		未満 直樹	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
C言語の仕様とプログラミングの基本を学習する。																					
【講義概要】																					
制御構造は、if、for、while の理解を目標とし、データ型は原則として int と char に絞る。データ構造は1次元および2次元配列(ポインタは除く)の概念と利用法について具体例を基に学習する。関数の作成および使用方法は重要項目とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	C言語の概要：プログラムの構成、プログラムの文法・記法など (main関数・型宣言・入出力方法・演算子等)																				
2	変数と演算と入出力処理：scanf関数・printf関数、各種演算子の優先順位、演算結果																				
3	変数と演算と入出力処理：scanf関数・printf関数、各種演算子の優先順位、演算結果																				
4	制御処理：if文と条件式の書き方について (論理演算子)																				
5	制御処理：while、for文を用いた繰り返し処理、break文、continue文																				
6	制御処理：while、for文を用いた繰り返し処理、break文、continue文																				
7	総合演習 I																				
8	1次元配列：配列の宣言・初期化・入出力方法、配列要素の扱い方、for・while文を使った繰り返し処理																				
9	1次元配列：並べ替え・度数処理・再配置処理など																				
10	2次元配列：配列の宣言・初期化・入出力方法、配列要素の扱い方、for・while文を使った繰り返し処理																				
11	2次元配列：並べ替え・集計処理など																				
12	文字列と配列																				
13	関数：ユーザー関数と標準関数、関数の定義・参照方法、引数 (定数・変数) の書き方																				
14	関数：ユーザー関数と標準関数、関数の定義・参照方法、引数 (定数・変数) の書き方																				
15	総合演習 II																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table> <p>(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。</p>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	100%					100%															
【教員紹介】																					
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー/ネットワーク等の授業を主に担当。																					
【教科書・参考文献】																					
新・明解C言語 入門編 第2版																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	C言語演習Ⅱ		未満 直樹	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
実習を通じてC言語およびプログラミングのスキルを磨く。																					
【講義概要】																					
関数、配列、ポインタ、構造体の理解を目標とする。実数型など未学習のデータ型も学ぶ。その他、ANSI関数の参照・プリプロセッサ制御文も学習する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	2次元配列、ポインタ（2次元配列の概念、ポインタ、ユーザー関数とポインタ）																				
2	ポインタ、制御構造、データ型（配列とポインタ ユーザー関数とポインタ, 多分岐処理 実数・ビット演算）																				
3	ポインタ、制御構造、データ型（配列とポインタ ユーザー関数とポインタ, 多分岐処理 実数・ビット演算）																				
4	高水準入出力（ファイル処理 ファイルのオープン・クローズ ファイルの入出力）																				
5	高水準入出力（ファイル処理 ファイルのオープン・クローズ ファイルの入出力）																				
6	総合演習Ⅰ																				
7	総合演習Ⅱ																				
8	標準関数、再帰処理																				
9	構造体（構造体の定義、構造体配列、入出力）																				
10	構造体（関数の引数と構造体、ポインタ）																				
11	動的メモリ割り当て																				
12	リスト																				
13	プリプロセッサ																				
14	総合演習Ⅲ																				
15	総合演習Ⅳ																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	100%					100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー/ネットワーク等の授業を主に担当。																					
【教科書・参考文献】																					
新・明解C言語 入門編 第2版																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	C言語文法 I		未満 直樹	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
C言語の仕様とプログラミングの基本を学習する。																					
【講義概要】																					
制御構造は、if、for、while の理解を目標とし、データ型は原則として int と char に絞る。データ構造は1次元および2次元配列(ポインタは除く)の概念と利用法について具体例を基に学習する。関数の作成および使用方法は重要項目とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	C言語の概要：プログラムの構成、プログラムの文法・記法など (main関数・型宣言・入出力方法・演算子等)																				
2	変数と演算と入出力処理：scanf関数・printf関数、各種演算子の優先順位、演算結果																				
3	変数と演算と入出力処理：scanf関数・printf関数、各種演算子の優先順位、演算結果																				
4	制御処理：if文と条件式の書き方について (論理演算子)																				
5	制御処理：while、for文を用いた繰り返し処理、break文、continue文																				
6	制御処理：while、for文を用いた繰り返し処理、break文、continue文																				
7	中間試験																				
8	1次元配列：配列の宣言・初期化・入出力方法、配列要素の扱い方、for・while文を使った繰り返し処理																				
9	1次元配列：並べ替え・度数処理・再配置処理など																				
10	2次元配列：配列の宣言・初期化・入出力方法、配列要素の扱い方、for・while文を使った繰り返し処理																				
11	2次元配列：並べ替え・集計処理など																				
12	文字列と配列																				
13	関数：ユーザー関数と標準関数、関数の定義・参照方法、引数 (定数・変数) の書き方																				
14	関数：ユーザー関数と標準関数、関数の定義・参照方法、引数 (定数・変数) の書き方																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table> <p>(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。</p>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	100%					100%															
【教員紹介】																					
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー/ネットワーク等の授業を主に担当。																					
【教科書・参考文献】																					
新・明解C言語 入門編 第2版																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	C言語文法Ⅱ		未満 直樹	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
C言語Ⅰの継続としてC言語の文法を学習する。																					
【講義概要】																					
関数、配列、ポインタ、構造体の理解を目標とする。実数型など未学習のデータ型も学ぶ。その他、ANSI関数の参照・プリプロセッサ制御文も学習する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	2次元配列、ポインタ（2次元配列の概念、ポインタ、ユーザー関数とポインタ）																				
2	ポインタ、制御構造、データ型（配列とポインタ ユーザー関数とポインタ, 多分岐処理 実数・ビット演算）																				
3	ポインタ、制御構造、データ型（配列とポインタ ユーザー関数とポインタ, 多分岐処理 実数・ビット演算）																				
4	高水準入出力（ファイル処理 ファイルのオープン・クローズ ファイルの入出力）																				
5	高水準入出力（ファイル処理 ファイルのオープン・クローズ ファイルの入出力）																				
6	復習（練習問題）																				
7	中間試験																				
8	標準関数、再帰処理																				
9	構造体（構造体の定義、構造体配列、入出力）																				
10	構造体（関数の引数と構造体、ポインタ）																				
11	動的メモリ割り当て																				
12	リスト																				
13	プリプロセッサ																				
14	復習（練習問題）																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	100%					100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー／ネットワーク等の授業を主に担当。																					
【教科書・参考文献】																					
新・明解C言語 入門編 第2版																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	JavaScript		仲 智弘	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
JavaScriptの標準仕様を理解し、JavaScriptをWebサイトに組み込むことができるようになる。																					
【講義概要】																					
プログラミングの基礎について講義し、JavaScriptの書き方を演習を通して学ぶ。 各講義では授業の理解度を測るために課題の提出を求める。 各自JavaScriptについての研究を行い、発表をLT形式で行う。自身で研究を深めることでより理解を深めることを狙いとする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	JavaScriptの基本 変数、型、数値の計算、文字列の表現																				
2	JavaScriptの基本 関数、制御構文、正規表現、演算子																				
3	データ操作の基本 配列、オブジェクト、JSON、イベント処理																				
4	非同期処理、通信																				
5	APIからデータを取得し、使用する																				
6	アプリケーション制作																				
7	アプリケーション制作																				
8	アプリケーション制作																				
9	アプリケーション制作																				
10	アプリケーション制作																				
11	総合演習																				
12	総合演習																				
13	総合演習																				
14	総合演習																				
15	総合演習																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td></td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%			40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
仲智弘：独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
いきなりプログラミングJavaScript、オリジナル教材																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2026	1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門 必修	実習	データベース演習(SQL) I	川前 亘	有
単位・時間数 2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

BMSの基本機能を理解する。
またSQLの基本文法を理解し、SQLを用いたデータ操作ができることを目標とする。

【講義概要】

教科書、プロジェクト、プリントを使用しDBの基本知識を身につけつつ、xamppを用いてMySQLによるSQL演習（SQLエディタとしてA5M2を使用）を行う。

回	授業計画及び学習の内容	
1	【講義】1章:RDBとSQL(SELECT文)	【演習】dokoSQLによるSQL (SELECT文)
2	【講義】2章:SQL(4大命令)	【演習】dokoSQLによるSQL (4大命令)
3	【講義】2章:SQL(4大命令 補強)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL (環境設定、SQL実行)
4	【講義】3章:SQL(絞込:WEHRE)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL (4大命令 補強)
5	【講義】3章:主キーとSQL	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL (絞込:WHERE)
6	【講義】中間対策	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL (主キー)
7	【中間試験】	
8	【講義】4章:SQL(検索結果の加工①)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL (検索結果の加工①)
9	【講義】4章:SQL(検索結果の加工②)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL (検索結果の加工②)
10	【講義】6章:SQL(集計①)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL (集計①)
11	【講義】6章:SQL(集計②)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL (集計②)
12	【講義】8章:SQL(結合①)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL (結合①)
13	【講義】8章:SQL(結合②)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL (結合②)
14	【講義】SQL(WHEREを使った複数表検索)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL (WHEREを使った複数表検索)
15	【期末試験】	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有
基本情報処理技術者、応用情報処理技術者資格を保有

【教科書・参考文献】

スッキリわかるSQL入門(株式会社インプレス)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	CCNA I		未満 直樹	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
ネットワークエンジニアにとって必須となる基礎知識・技術の修得を目標とする。 ベンダー試験「Cisco Certified Network Associate (CCNA)」の合格も目指す。																					
【講義概要】																					
Cisco Networking Academy「CCNA: Introduction to Networks」のコースウェアに従い講義を実施する。 この講義では主として演習を進めることで理解を深める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	基本的なスイッチとエンドデバイスの設定																				
2	プロトコルとモデル																				
3	物理層																				
4	データリンク層																				
5	イーサネットスイッチング																				
6	ネットワーク層																				
7	総合演習 I																				
8	アドレス解決																				
9	ルータの基本設定																				
10	ルータの基本設定、IPv4アドレッシング																				
11	IPv4アドレッシング																				
12	IPv6アドレッシング																				
13	ICMP																				
14	トランスポート層																				
15	総合演習 II																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table> (補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	100%					100%															
【教員紹介】																					
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー/ネットワーク等の授業を主に担当。																					
【教科書・参考文献】																					
コースウェアのオンラインテキスト																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門基礎 必修	講義	アルゴリズム		成田 与志子	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
プログラミングにおいて処理の基本となるアルゴリズムの基礎を学習する。							
【講義概要】							
教科書に沿ってスライドによる解説を行いながら、フローチャートの記載やトレース結果を考えることで理解を深める。授業ごとに演習課題を実施し、提出を必須とする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	アルゴリズムとは、フローチャート						
2	基本構造（順次、分岐、くり返し）						
3	変数と定数						
4	カウンタ、集計						
5	二重ループ						
6	複合条件						
7	中間試験						
8	フラグ/スイッチ						
9	データ構造（スタック、キュー）						
10	配列						
11	多次元配列						
12	文字列						
13	探索（線形探索）						
14	探索（二分探索）						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%			30%		100%
(補足)		単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。					
【教員紹介】							
情報学部の教員として、現在に至る。							
【教科書・参考文献】							
「はじめてのアルゴリズム」（インフォテックサーブ） 「ITワールド」（インフォテックサーブ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	セキュリティ I		村上 浩紀	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
情報セキュリティの基礎知識の習得とその活用																					
【講義概要】																					
IT初学者として情報セキュリティの知識を習得する必要性および重要性を理解する。セキュリティインシデント事例を基に予防と対応のための基礎知識を習得する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	ガイダンス、情報セキュリティとは																				
2	プロローグ：マルウェア、ソーシャルエンジニアリング																				
3	サイバーセキュリティ基礎																				
4	情報セキュリティの要素：各種攻撃手法（1）																				
5	情報セキュリティの要素：各種攻撃手法（2）																				
6	情報セキュリティの要素：違法行為、デジタル遺産																				
7	中間試験																				
8	情報セキュリティの要素：スマホセキュリティ																				
9	情報セキュリティの要素：IoT、攻撃を受けた時の対処																				
10	情報セキュリティの要素：パスワード、多要素認証																				
11	情報セキュリティの要素：無線LAN、メール、暗号化																				
12	情報セキュリティの要素：暗号化																				
13	情報リテラシー：企業のセキュリティ																				
14	情報リテラシー：情報収集、企業を狙ったサイバー攻撃																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>50%</td><td></td><td>20%</td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%		20%	30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%		20%	30%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
(1) ITベンダー勤務、クラウドアーキテクト (2) 情報セキュリティ製品および認証系エンジニアとしての業務経験 (3) 情報セキュリティの取り組み支援および講演、演習などの実務経験																					
【教科書・参考文献】																					
NISC:「インターネットの安全・安心ハンドブック」 Ver5.10 (令和7年3月11日版) 参考文献：ネットワークセキュリティ (オーム社) https://shop.ohmsha.co.jp/shopdetail/000000004922/ 参考文献：暗号技術入門 (SBクリエイティブ) https://www.sbcr.jp/product/4797382228/																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	セキュリティⅡ		仲 智弘	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
情報セキュリティマネジメント試験に合格する。							
【講義概要】							
IPA 公開のサンプル問題の解析、過去問演習。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	予想問題：科目B						
2	予想問題：科目B						
3	予想問題：科目B						
4	予想問題：科目B						
5	傾向と対策、計算問題の対策						
6	傾向と対策、計算問題の対策						
7	傾向と対策、計算問題の対策						
8	傾向と対策、計算問題の対策						
9	予想問題：科目A						
10	予想問題：科目A						
11	予想問題：科目A						
12	予想問題：科目A						
13	過去問演習						
14	過去問演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%			40%		100%	
(補足)	授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること 中間試験は実施しない						
【教員紹介】							
独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
情報処理教科書 出るところだけ！情報セキュリティマネジメント [科目A] [科目B] 2026年版							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	ソフトウェア		小泉 真理子	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ソフトウェアの基礎について学習する。																					
【講義概要】																					
講義と各回に関連する科目A試験の過去問演習を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	ソフトウェアの分類、オペレーティングシステム1																				
2	オペレーティングシステム2																				
3	オペレーティングシステム3																				
4	プログラム言語と言語プロセッサ																				
5	ファイル1																				
6	ファイル2、中間試験対策																				
7	中間試験☒																				
8	情報処理システムの処理形態																				
9	高信頼化システムの構成、情報処理システムの評価1																				
10	情報処理システムの評価2、ヒューマンインターフェース1																				
11	ヒューマンインタフェース2、マルチメディア																				
12	データベースの概要1																				
13	データベースの概要2																				
14	データベースの概要3、いろいろなデータベース、期末試験対策																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験、ITサービスマネージャ試験など。																					
【教科書・参考文献】																					
ITワールド（株式会社インフォテックサーブ）																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	ハードウェア I II		安藤 真理	無	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
情報技術のハードウェア分野についての知識、理解をもとに、後期より始まる基本情報技術者試験への合格を目指す。																					
【講義概要】																					
情報技術における基礎理論をはじめ、ハードウェア分野についての知識、理解を身に着ける。また、基本情報技術者試験の過去問題の解法とともに理解を深める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	0R、基数（2進数、10進数、16進数）の基礎理解																				
2	基数変換																				
3	基数変換の応用、五大装置について																				
4	中央処理装置																				
5	主記憶装置と補助記憶装置																				
6	論理回路、中間試験対策																				
7	中間試験																				
8	磁気ディスク																				
9	シフト演算																				
10	インターフェース																				
11	システムの性能評価																				
12	浮動小数点法																				
13	基本情報技術者試験について、試験対策問題																				
14	期末試験対策																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td>10%</td><td></td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%	10%		10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																					
【教科書・参考文献】																					
ITワールド（インフォテックサーブ）																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2026		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ネットワーク I	高木 健至	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

インターネットに代表されるコンピュータネットワークの基礎及びネットワーク技術を習得する。また、情報処理技術者試験の対象範囲の問題に対応できるようになる。

【講義概要】

ネットワークの基礎技術と、プロトコルを始めとするアーキテクチャに関する知識から、我々の生活を支える社会基盤となっているLAN, インターネットの仕組みを学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	インターネットの概要
2	通信サービスの品質評価
3	インターネット 電子メール、WWW
4	インターネット 各種サービス
5	インターネット プロトコル①
6	インターネット プロトコル②
7	中間試験
8	ネットワークアーキテクチャ OSI
9	ネットワークアーキテクチャ TCP/IP
10	LANの概要
11	LAN アクセス制御
12	ネットワークの仕組み 変調、同期、誤り制御
13	ネットワークの仕組み 交換方式、その他
14	ネットワーク管理
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

教育(情報, 通信等)を中心に, ITサービス(インターネット, LAN他), コンサルタント等, IT関連事業を行っています。

【教科書・参考文献】

ITワールド (株) インフォテックサーブ

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門基礎 必修	講義	ネットワークⅡ		未満 直樹	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
ネットワークエンジニアにとって必須となる基礎知識・技術の修得を目標とする。 ベンダー試験「Cisco Certified Network Associate (CCNA)」の合格も目指す。																					
【講義概要】																					
Cisco Networking Academy「CCNA: Introduction to Networks」のコースウェアに従い講義を実施する。 この講義では主として説明を行い、CCNA Iで演習を進めることで理解を深める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	基本的なスイッチとエンドデバイスの設定																				
2	プロトコルとモデル																				
3	物理層																				
4	データリンク層																				
5	イーサネットスイッチング																				
6	ネットワーク層																				
7	中間試験																				
8	アドレス解決																				
9	ルータの基本設定																				
10	ルータの基本設定、IPv4アドレッシング																				
11	IPv4アドレッシング																				
12	IPv6アドレッシング																				
13	ICMP																				
14	トランスポート層																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table> (補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	100%					100%															
【教員紹介】																					
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー/ネットワーク等の授業を主に担当。																					
【教科書・参考文献】																					
コースウェアのオンラインテキスト																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門基礎 必修	実習	ホームページ		未満 直樹	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
ウェブページを作成するために必要なHTML/CSSの役割について、その基本を学習する。 各回で行う演習を通じて、制作技術の習得を目指す。																					
【講義概要】																					
HTML/CSSの基本的な知識と記述方法を学び、その内容を確認・理解するための課題に取り組むことで、基本的なウェブサイトの構築方法を学習していく。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	ウェブサイト制作のための環境構築、エディタの使い方、HTMLの基礎など																				
2	HTMLの基本的な書式、見出し、段落、リスト、グループ化																				
3	テーブルについて、リンクと画像の挿入																				
4	CSSの基礎、外部CSSファイルの読み込み																				
5	CSSの基礎、外部CSSファイルの読み込み、各種スタイルの設定																				
6	ボックスモデル、背景画像の設定																				
7	総合演習																				
8	サイト公開の方法、FTPツールについて																				
9	フレックスボックスとグリッドレイアウト																				
10	フレックスボックスとグリッドレイアウト																				
11	ナビゲーション、フォームについて																				
12	レスポンシブデザインとメディアクエリ																				
13	ウェブサイトの制作演習1																				
14	ウェブサイトの制作演習2																				
15	総合演習																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table> (補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	100%					100%															
【教員紹介】																					
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー/ネットワーク等の授業を主に担当。																					
【教科書・参考文献】																					
スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第3版、狩野 祐東 (著)、SBクリエイティブ																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	実習	表計算基礎 I		藤田 恵子	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
表計算EXCELの基本操作・データ集計・グラフ作成編集と分析、印刷や保存、ビジネスデスクワークで必須の集計計算、書類作成を実習をとおして学ぶ。																					
【講義概要】																					
毎回配布プリントの見本や指示に従い、毎回課題を作成し、A4紙に印刷して提出し評価を受ける。課題は、完成しA評価をもらうまで提出を続けること。テキストがない代わりに、PDF形式の見本や説明を毎回ファイルで配布し各自で確認できる。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	EXCEL基本操作、コピー貼付、文字記号漢字基本入力、シート使い方、セル入力解説、保存と印刷の方法、罫線表示と解説																				
2	表作成とデータ入力、通貨記号%記号表示、桁区切りカンマ通貨表示、罫線の編集と太さ種類、データ合計平均最大最小																				
3	データ集計と四則計算、利益率、構成比率、割合、式のコピーによるセル固定\$絶対参照と相対参照、書式変更と書式コピー																				
4	セルを数えるCOUNT, COUNTIF, COUNTA, COUNTBLANK/条件演算子>=以上<=以下<>not<未満/合計と平均と四則計算練習																				
5	文字入力、数値、記号、漢字、英語、全角と半角文字、特殊記号、画像挿入、表作成罫線、行の高さ、列幅変更																				
6	表作成と縦棒グラフ作成と編集、円グラフの作成と編集、横棒グラフ作成と編集、積み上げ縦棒グラフと編集																				
7	表作成とデータ入力練習、折れ線グラフの作成と編集、積み上げ横棒グラフと編集、印刷改ページプレビュー使い方																				
8	ヘッダーフッター表示と使い方。印刷範囲と、複数ページ印刷時の行の固定。ウィンドウ枠の固定解説と使い方																				
9	IF判定基本使い方、ABCD判定条件式、複数条件ANDとORと演算子/RANK順位/データの並べ替え降順と昇順																				
10	表作成とグラフの作成と編集を課題で練習(1~3)関数Large, Small, Phonetic, Sumif, Sumifs,																				
11	関数IF、RANK順位、sumif、countif練習と表作成、罫線編集とセル結合/シートの保護について、セルのロック設定																				
12	表検索VLOOKUP、HLOOKUPの使い方とIFとの使い分け/データの複数条件並べ替え/フィルタ機能/WORDへのリンクコピー																				
13	複数シートの集計と串刺し演算。ファイル間のデータ集計。PDFファイル保存。マクロ機能解説、差し込み印刷機能																				
14	まとめと復習1																				
15	まとめと復習2																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>70%</td> <td></td> <td></td> <td>30%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																					
【教科書・参考文献】																					
実教出版Excel30時間、無限大EXCEL、MOS試験対策本、日情検定1-3級試験問題より抜粋																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門基礎	必修	表計算基礎Ⅱ		藤田 恵子	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
表計算の基本・集計・グラフ作成・請求書や納品書や決算書類作成など学びし、データベース作成・データベース検索・抽出・ピボットテーブル・クロス集計・小合計追加などの機能を習得し時間や月日計算・文字列関数を学び、自動化できるVBAマクロ機能を学びビジネスに必要なEXCELの機能を学び身に着ける。																					
【講義概要】																					
毎回配布プリントの見本や指示に従い、毎回課題を作成し、A4紙に印刷して提出し評価を受ける。課題は、完成しA評価をもらうまで提出を続けること。テキストがない代わりに、PDF形式の見本や説明を毎回ファイルで配布し各自で確認できる。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	表作成、罫線変更、セル結合、複数シートの集計（基本関数の復習sum/average/max/count/countif/if/rank/small/large）																				
2	グラフ作成（積み上げ横棒、レーダチャート、2つの円グラフ、ヒストグラム、折れ線）と、WORDへリンク貼り付け																				
3	日付関数による計算（DATE/month/day/year/today/now）時刻の計算稼働時間など（time/hour/minute/second）																				
4	セルの表示形式の変更とユーザ定義（時刻や日付や曜日の定義、整数や小数、単位をつけるなどの定義づけ）																				
5	表検索（VLOOKUP/HLOOKUP）の活用とIF関数の応用、MATCH関数の応用、文字列関数（left/left/MID）の活用																				
6	表のデータベース機能（複数条件の並べ替え/フィルタによる抽出/フィルタボタンの使い方/テーブルの条件付き書式）																				
7	複数ファイルからのデータインポート、シートの移動や削除やコピー/別ファイル同士の集計/リンクの設定と活用																				
8	複数シートの串刺し演算活用/複数シートのグループ化の活用/シートの保護の活用/PDF変換/WEBへの変換/WEBをインポート																				
9	データベースの集計（DSUM/daverage/DCOUNT/DMAX/DMIN）条件の作成方法/SUMIFによるデータの条件別集計																				
10	WORD差し込み印刷への住所録データベースの作成（各リストの定義をつくる）VLOOKUPの活用による個別検索（リスト使用（																				
11	勤務表稼働時間計算/時速や分速秒速/に進数計算など応用/ABS絶対値の活用/WHAT-IF予測自動計算機能																				
12	VBAプログラム（自動マクロの活用、フォームやツールの活用、基本if~then文）（for--繰り返し）ボタンに登録																				
13	VBAプログラム作成（差し込み印刷の自動化、データベース表の自動化、表計算の自動化）フォーム作成、各種ボタン																				
14	まとめと復習1																				
15	まとめと復習2																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>70%</td> <td></td> <td></td> <td>30%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																					
【教科書・参考文献】																					
実教出版Excel30時間、無限大EXCEL、MOS試験対策本、日商文書作成検定2級試験問題、																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	実習	文書編集基礎		佐藤 薫	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Wordを使用して文書編集の機能を理解し、定型のビジネス文書や表や図入りの案内書を効率よく作成できるようになることと、長文の文書の編集方法を習得することが目標。入力速度の向上も目指そう(最低でも400字以上/10分)。																					
【講義概要】																					
各機能の操作説明をよく聞き、操作方法を理解してから実習課題を1、2問作成する。最後に文書の仕上がりを確認することも大切。不明点があれば積極的に聞いて文書作成の基礎を身に着けよう。授業中にできなかった必須課題は仕上げて、必ず提出すること。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Word画面の名称、新規文書の作成、入力の基礎、ファイル保存と提出方法																				
2	文字の移動・コピー、文書の表示方法、ビジネス文書のルール																				
3	ページ設定、文字の書式、文字の配置																				
4	箇条書きと段落番号、行間の設定、文書の印刷																				
5	練習問題（ビジネス文書の作成）																				
6	表の作成と編集																				
7	表のスタイル変更、段落に引く罫線																				
8	図形の挿入と編集																				
9	グラフィックの挿入と編集（図、SmartArt、ワードアート）																				
10	練習問題（表やオブジェクトのある文書の作成）																				
11	文書のレイアウト機能（タブ、段組み、ヘッダー・フッター）																				
12	文書のレイアウト機能（ページの背景、テーマ）／ 練習問題（レイアウトを工夫する文書の作成）																				
13	長文作成に役立つ機能（スタイル、目次、検索と置換）																				
14	まとめ																				
15	まとめ																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業中の必須課題は必ず仕上げて提出すること。授業時間以外に課す課題も必ず取り組むこと。																					
【教員紹介】																					
専門学校でOffice系の科目、派遣会社で企業向けのOffice研修を担当。MOS試験やOffice関連の書籍の執筆も担当。																					
【教科書・参考文献】																					
世界一わかりやすいWordテキスト（技術評論社）																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	ITパスポート対策		成田 与志子	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ITパスポート試験合格を目標とする							
【講義概要】							
ITパスポート試験の対策を行う。用語と問題を理解し、合格を目指す。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ITパスポート導入						
2	ストラテジ 企業と法務。 過去問練習						
3	ストラテジ 経営戦略。 過去問練習						
4	ストラテジ システム戦略。 過去問練習						
5	ITパスポート過去問題の解説1						
6	マネジメント 開発技術。 過去問練習						
7	中間試験						
8	マネジメント プロジェクトマネジメント。 過去問練習						
9	マネジメント サービスマネジメント。 過去問練習						
10	ITパスポート 過去問題の解説2						
11	テクノロジー 基礎理論。 過去問練習						
12	テクノロジー コンピュータシステム。 過去問練習						
13	テクノロジー 技術要素。 過去問練習						
14	ITパスポート 過去問題の解説3						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%		10%	10%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
情報学部の教員として、現在に至る。							
【教科書・参考文献】							
いちばんやさしい ITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集 (SBクリエイティブ) ○ 過去問は授業中に配布する							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	基本情報対策 I		平塚 悠生	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験合格を目標とする							
【講義概要】							
過去問演習を通して合格に必要な力を身に着ける。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	科目A対策						
2	科目A対策						
3	科目A対策						
4	科目A対策						
5	科目A対策						
6	科目A対策						
7	中間試験						
8	科目A対策/科目B対策						
9	科目A対策/科目B対策						
10	科目A対策/科目B対策						
11	科目A対策/科目B対策						
12	科目A対策/科目B対策						
13	科目A対策/科目B対策						
14	科目A対策/科目B対策						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	
割合	100%					100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。							
【教科書・参考文献】							
ITパスポート過去問題							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	基本情報科目A対策		井元 和彦	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
基本情報技術者試験科目Aにおいて、合格水準の力を身につけることを目標とする。																					
【講義概要】																					
基本情報技術者試験の科目A及び旧午前試験の過去問題、公開問題、サンプル問題を中心に演習・解説を行う。毎回分野を限定した問題を解き、出題の傾向を把握するのに役立つ。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	過去問演習																				
2	過去問演習																				
3	過去問演習																				
4	過去問演習																				
5	過去問演習																				
6	過去問演習																				
7	中間試験																				
8	過去問演習																				
9	過去問演習																				
10	過去問演習																				
11	過去問演習																				
12	過去問演習																				
13	過去問演習																				
14	過去問演習																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当																					
【教科書・参考文献】																					
IPAが公開している過去問題、サンプル問題																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	基本情報科目B対策I		成田 与志子	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
基本情報技術者試験（FE）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。																					
【講義概要】																					
基本情報技術者試験のサンプルなどを使い、問題の考え方、トレースのしかたなどを説明し、練習する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 前期のアルゴリズムの復習																				
2	擬似言語 分岐と繰り返し																				
3	配列①、再帰																				
4	配列②																				
5	二次元配列																				
6	中間試験対策																				
7	中間試験解説																				
8	探索																				
9	リスト①																				
10	リスト②																				
11	木構造、ハッシュ表																				
12	整列①																				
13	整列②																				
14	期末試験対策																				
15	期末試験解説																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td>10%</td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%		10%	10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%		10%	10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
情報学部の教員として、プログラミングなどの授業に携わる。																					
【教科書・参考文献】																					
基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミング トレーニング 問題集(第2版) (大原出版)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	基礎学力		佐々木 一仁	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる							
【講義概要】							
①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など							
回	授業計画及び学習の内容						
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）						
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題						
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題						
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み						
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題						
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習						
7	中間試験						
8	図形問題（角度）						
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）						
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題						
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題						
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）						
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題						
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	80%	10%		10%		100%
	(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。						
【教員紹介】							
中学校、高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。							
【教科書・参考文献】							
BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	基礎数学 I		氏原 真代	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
数学の基礎（数列、順列、組合せ、指数、対数、三角関数、微分、積分）を学び、活用できることを目指す。																					
【講義概要】																					
数列、順列、組合せ、指数、対数、三角関数、微分、積分などの基礎を学習する。それぞれの分野の演習問題を行い、基礎的な問題が解けるようにする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	指数・対数（1） 指数関数																				
2	指数・対数（2） 対数関数																				
3	数列（1） 等差数列とその和																				
4	数列（2） 等比数列とその和																				
5	場合の数（1） 順列																				
6	前半まとめ 演習問題																				
7	中間試験																				
8	場合の数（2） 組合せ																				
9	三角関数（1） 弧度法・三角比																				
10	三角関数（2） 加法定理・三角関数の合成																				
11	微分（1） 微分係数・導関数																				
12	微分（2） 導関数の応用・関数の最大と最小																				
13	積分 不定積分・定積分																				
14	後半まとめ 演習問題																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td>10%</td><td></td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%	10%		10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
本校診療放射線学科で専任講師として20年以上、数学・物理学・電気実験等を担当し、その後非常勤講師として、独立行政法人教育センターや各種専門学校等で、数学・物理学・電気実験等を担当																					
【教科書・参考文献】																					
授業時にプリント配布・講義の際に紹介																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2026	1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語 I	酒井 智子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。

【講義概要】

世界的に有名な企業について取り上げた教材を用い、その社会的な取り組みに関する知識を得ながら語彙を増やし英語力の基礎を築く。またITの専門領域に特化した単語集より各回15語程度の英単語を例文を通して覚える。小テストや課題を原則毎回こなし、地道な取り組みによる成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらう。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション、5文型8品詞
2	Unit 1 "7-ELEVEN" (1)、IT単語・例文プリント①-1
3	Unit 1 "7-ELEVEN" (2)、IT単語・例文プリント①-2
4	Unit 2 "LINE" (1)、IT単語・例文プリント②-1
5	Unit 2 "LINE" (2)、IT単語・例文プリント②-2
6	Unit 3 "NISSIN FOODS" (1)、IT単語・例文プリント
7	中間試験
8	Unit 3 "NISSIN FOODS" (2)、IT単語・例文プリント③-1
9	Unit 4 "McDonald's" (1)、IT単語・例文プリント③-2
10	Unit 4 "McDonald's" (2)、IT単語・例文プリント④-1
11	Unit 5 "TOYOTA" (1)、IT単語・例文プリント④-2
12	Unit 5 "TOYOTA" (2)、IT単語・例文プリント⑤-1
13	Unit 6 "STARBUCKS" (1)、IT単語・例文プリント⑤-2
14	Unit 6 "STARBUCKS" (2)
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	90%	5%	3%	2%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

高校教師（4年）、外資系企業の秘書（5年）、医療系大学で薬学部非常勤講師の経験（2年半）あり。
 取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級(日本医療通訳協会)

【教科書・参考文献】

【教科書】 Purpose - Companies for Social Good 「英語で学ぶ社会における企業の存在意義」（金星堂）
 【参考文献】 IPA セキュリティ英単語集（情報処理推進機構 website より）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	文書作成		砂賀 勝己	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
この講義では「読みやすく、分かりやすい文章を書く練習をする」を目的とする。 とにかく、自分の頭と手を実際に動かして書く練習をしましょう。							
【講義概要】							
授業プリントを配布しながら講義を進める。 授業の終わりに課題を提出するので、期限までに必ず取り組むこと。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	導入編：文章を書き始める前に						
2	要約文とは：相手に伝わる要約をしてみよう（ジグソーリーディング）						
3	文章構成の手順：構成を意識して一目で伝わる文章を書いてみよう						
4	句読点の適切な使い方：適当ではなく適切な部分に使いましょう						
5	接続詞を正しく使う：接続詞の種類と使い分けを意識しよう						
6	自分の文章を見つめなおす：相手に文章だけで魅力を伝えてみよう						
7	正しい表現を知ろう：呼応表現とら抜き言葉について						
8	文末表現に注意：文体を統一して書く意識を付けよう						
9	読みやすい要約とは：他人から見た読みやすい文章を確認し合おう（ジグソーリーディング）						
10	敬語の復習：ビジネス用語・メールの送り方を身に付けておこう						
11	総復習：相手にとって読みやすい文章とは何かを考えよう						
12	ビブリオバトル						
13	演習問題						
14	演習問題						
15	試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	100%					100%	
(補足) 原則として欠席回数が1/3を超えた場合・プレゼン未実施者・課題未提出者は、評価の対象としない。							
【教員紹介】							
教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当							
【教科書・参考文献】							
オリジナルのプリントを配布します。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー I		今村 朋子	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
<p>学校生活を送るための基本的なルールの徹底と社会生活のマナーの習得を目指します。挨拶の励行に始まり言動や行動に至るまで、なぜ必要なのかを理解し納得した上で習慣化を図ります。ビジネスマナーが単なるルールではなく、コミュニケーションの土台になることを体験し、実践行動につなげます</p>																					
【講義概要】																					
<p>授業は講義と演習から構成され、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標としています。楽しく学ぶ意識改革と行動変容がテーマです。</p>																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	第1章 専門学校生としてのマナー 授業のルール・学校のルールの確認 マナーとルールの違い 敬礼と挨拶																				
2	第1章 好感度アップのポイント 身だしなみの基本 敬語の知識 第一印象決定要素 状況や立場による話し方を理解する																				
3	第2章 外出先でのマナー 公の場や家庭でのマナー 日常の立ち居振る舞いについて																				
4	第2章 接遇について 茶菓接待・ワンランク上のおもてなし 訪問とおもてなしを知る																				
5	第3章 食事のマナー① 箸遣いの基本 食事の作法と歴史 和食・日本料理のいただき方																				
6	第3章 食事のマナー② 洋食・フランス料理・中華料理・デザート 食文化・料理の文化を学ぶのいただき方																				
7	中間試験																				
8	第4章 書き方のマナー① 手紙・封筒・はがきの書き方																				
9	第4章 書き方のマナー② ビジネス文書 社内文書・社外文書・社公文書について																				
10	第5章 人生の節目のしきたり① 贈答の知識とマナー																				
11	第5章 人生の節目のしきたり② 慶事・弔事のマナー																				
12	第6章 社会人としてのマナー 社会人への心構え、ビジネスマナーの基本																				
13	第7章 年中行事と暮らしの歳時記 人生時間の歳時記 日本文化と伝統を知る																				
14	第8章 国際人としてのマナー 国際社会でのマナー 多様性を受け入れる 挨拶、ジェスチャーの違い等																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。</p>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計															
割合	80%			20%		100%															
【教員紹介】																					
<p>都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社</p>																					
【教科書・参考文献】																					
各クラス共通 「楽しく学べるマナーの基本」																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	経営		古郡 聡	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
現代のICT社会における企業の経営戦略・マーケティング戦略について、企業形態・経営組織から各種戦略について学習する。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。																					
【講義概要】																					
授業テーマごとにテキスト『IT戦略とマネジメント』に基づいて解説した後、毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	企業活動の目的																				
2	企業会計																				
3	経営科学・オペレーションズリサーチ																				
4	経営科学・IE分析技法																				
5	経営科学・品質管理																				
6	経営工学・業務分析																				
7	中間試験																				
8	法務と標準化																				
9	経営戦略マネジメント(1)☒																				
10	経営戦略マネジメント(2)☒																				
11	技術戦略マネジメント																				
12	ビジネスインダストリ (1)																				
13	ビジネスインダストリ (2)																				
14	情報システム戦略																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他(要点のまとめ)</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td></td><td>20%</td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(要点のまとめ)	合計	割合	80%				20%	100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(要点のまとめ)	合計															
割合	80%				20%	100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
教育機関にて学内のシステム開発業務に従事。企業のIT系研修及び情報系専門学校にて講師を担当。																					
【教科書・参考文献】																					
『IT戦略とマネジメント』(株)インフォテック・サーブ																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		1年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習 I		高度情報システム科 担当教員	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<p>運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。</p>							
【講義概要】							
この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	春のハイキング						
2							
3							
4	学園祭準備（1日目、2日目）						
5							
6							
7	学園祭（1日目）						
8							
9							
10	学園祭（2日目）、後片付け						
11							
12							
13	秋のハイキング						
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合				100%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		1年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 選択	実習	課外活動 I		高度情報システム科 担当教員	無	1単位 15時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<p>企業セミナーなど外部イベントへの参加や産学連携など、外部とのかかわりを通して将来のエンジニア像の理解を深め、また就活時に役立つ知識の習得などに取り組む。</p>							
【講義概要】							
-							
回	授業計画及び学習の内容						
1	<p>授業としての企業セミナーや企業見学、インターンへの参加など、授業の内容として認められるイベントなどへの参加</p>						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合				100%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							